

無所属



平塚の未来を担う子どもたちを守ろう

小泉 春雄 議員

平塚の水稲を守ろう

問 外来種である通称ジャンボタニシによる水田の被害状況を伺う。

産業振興部長 北豊田や東豊田、南豊田、また小鍋島南部や城所において被害が多く、田んぼ1枚がほぼ全滅するケースもあった。

問 農家の防除剤購入を助成できないか。

産業振興部長 個々の農家で対策するだけでなく、地域で対策することが大切である。どのような方策が良いかを考えていきたい。

市北部の道路網整備

問 石田小稲葉線並びに東

子どもを守ろう

問 小学校の登下校時の見

浅間大島線整備促進協議会の最新の動きを伺う。

土木部長 8月25日に県へ要望を行い、大島交差点から

国道22号までの区間及び、国道129号から石田小稲葉線と交差する区間について、県道として整備することの検討を開始するという見解をもらった。

問 市長の代わりに副市長が要望活動で県へ行ったようであるが、感触を伺う。

副市長 新年度から積極的に検討していきたいと回答があり、非常に前向きな回答であると感じた。

守り活動の現状を伺う。

教育指導担当部長 PTAや交通安全協会、自治会などの地域団体の協力を得ながら、各小学校の実態に合わせて取り組んでいる。

問 見守り活動中に、ボランティアが事故にあった場合の補償と、子供が事故にあった場合の責任は、どのようになっているか。

教育指導担当部長 ボランティアの補償については、市内に活動拠点を置いて計画的、継続的な活動を行っている5人以上の市民活動団体に属している人であれば、市が加入する制度の傷害事故補償が適用される。

問 「しながら見守り」任事故補償が適用される。

の場合も適用されるのか。市民部長 例えば、散歩しながら子供を見守る場合、補償は難しいと考える。

問 見守り中に不審者が出たら部長はどうするか。

教育指導担当部長 子供を守る行動をしようと思う。身を見ていて子供を守ることが見守りの基本であると思うが、地域でできない部分もある。企業などと協定を結んではどうか。

教育指導担当部長 企業による社会貢献活動の活用なども研究していきたい。



久保田 聡 議員

可決した 意見書

議員から、次の意見書が提案され、全員異議なく可決しました。ホームページには全文を掲載しています。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(抜粋)

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案6案件は全て原案どおり可決又は承認すべきもの、請願2件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第69号 専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕

問 総務費の行政情報化推進事業及び基幹情報システム運用管理事業で、在宅勤務の環境整備を行うために端末機を20台から95台に増やす。なぜ95台とするのか。

答 全81課に1台以上を確保するとともに、妊娠中や子育て、介護など配慮が必要な人にもテレワークの環境を確保するために95台に拡充する。

問 商工費の地域経済キャッシュレス化推進事業「ひらつか☆スターライトポイント」が実際にスタートしてから、現場での問題に対する対応やサポート体制はどうなっているか。

答 サポート体制としてコールセンターを設置している。また、産業振興課や商工会議所でも対応し店舗をしっかりサポートしたい。

問 新しい生活様式に取り組む中小企業等応援金事業は、受付期間を10月16日まで延長したが、申請件数はどのくらい増えたのか。

答 9月3日時点で1,687件であったが、延長を決定した後の9月14日時点で2,324件となり、その期間で約600件増加している。

○議案第82号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 総務費のオリンピック・パラリンピック推進事業について、オリンピック・パラリンピックは来年に延期となったが、一定の準備は必要であると思う。補正予算で約4,600万円の減額措置をするが、残り約2,400万円の予算をどのように使う予定なのか。

答 残りの予算について実行委員会で執行を検討している。リトアニア共和国のオリンピック委員会などからも、新型コロナウイルスの状況が落ち着けばキャンプを行いたいという申し出があり、その準備をしている。また、1年前の機運醸成のイベントとして、新たな企画と、当初予定していたものから形を変えて実施する企画を検討している。

環境厚生

議案8案件は全て原案どおり可決又は承認すべきもの、請願2件は不採択とすべきものと決定しました。

○議案第69号 専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕

問 民生費の地域福祉推進事業について、町内福祉村への支援ということで増額しているが、その内容を伺う。

答 新型コロナウイルスの感染拡大に配慮した活動を行うに当たり、必要な物品などを購入した経費に対して交付するものである。

問 生活困窮者自立支援事業について、新型コロナウイルス感染症の影響で相談支援業務が増大したとのことであるが、相談件数はどのくらい増えて、相談員は何人増員したのか。

答 今年4月から8月までの相談件数が約3,800件で、昨年同時期の約1,200件に比べて3倍以上という状況である。相談員は今までの4人から2人増員して6人となった。

○議案第70号 専決処分の承認について〔令和2年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算〕

問 介護保険任意事業でホームページ改修委託料が計上されているが、改修の内容を伺う。

答 介護サービス事業所で構成される「ひらつか地域介護システム会議」が運営するホームページを、事業所間の連携強化を図ることを目的に改修したものである。これまでは一方向から情報発信する配信型であったが、双方向から発信できる共有型に改修した。

○議案第84号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 衛生費の予防接種事業は、高齢者のインフルエンザ予防接種費用を無償化する事業であるが、例年は何人ぐらいが接種しており、今回は何人分を見込んでいるのか。

答 昨年度は32,290人が接種したが、今回は無償化により更に接種者が増えるであろうと考えている。およそ72,985人が対象者となり、その70%が接種するという推測のもとで、51,100人分の予算を計上している。